

2005年以降の第2フェーズに向けた考え方（論点メモ）

- ・ 燃料電池の実用化に向けて必要となる、基本メカニズムの解明や耐久性向上の共通する技術課題を克服するためには、どのような技術開発フォーメーションを構築すべきか。そのために政策に期待する取組みは何か。
- ・ 実証段階から導入段階への移行を睨みつつ、燃料電池自動車、定置用燃料電池の実証試験を今後どのように展開していくべきか。
- ・ 燃料電池の実用化を図るための、水素を安全かつ低コストに供給するためのハード・ソフト面のインフラ整備をどのように図るべきか。
- ・ 国際協力の枠組み構築が進展している中、日本としてどのような分野での協力を積極的に進めていくべきか。また、留意すべき点、懸念の点はあるか。